

令和5年度橋本市立橋本小学校（学校経営方針）スクールプラン

橋本市教育大綱（理念）

- 人が学びあい、共に育むまちづくり
- 豊かな心と健やかな体を育みます
- 家庭教育・学校教育・社会教育の中で多様な学びを育みます。
- 地域・家庭・学校が連携した地域教育力を育みます

基本理念：全ての教職員で全ての児童の教育にあたる

【学校教育目標】

心やさしく よく学び たくましく生きる子の育成

【めざす児童像】

【徳】 仲よく助け合い、高め合う子

【知】 夢中で学ぶ子

【体】 元気でがんばる子

前年度の学校評価

- 教育目標・重点目標共に適切かつ学校の状況を把握して作成されており、それを達成するための柱建てや具体的な取組等が整備されているのは良い。
- 保護者との連携方法を工夫しお互いの立場を理解し合い、上手く協力する必要がある。
- 「はしもとあい」の周知徹底など、「徳」の部分での教育活動の見直しが必要である。

保護者・地域の願い

- 学校が子供にとって安全・安心で、楽しいと思える場であってほしい。
- 確かな学力を身につけ、思いやりの心を持ち、善悪の判断のできる子どもの育成を期待する。
- 元気に挨拶をし、地域に愛着をもち、地域の活動等へ積極的に参加してほしい。

児童の実態

- 明るく元気な児童が多く、休憩時には運動場で遊ぶ多くの児童の姿が見られる。
- 基本的な生活習慣や規範意識の定着に課題が見られる。（ゲーム・動画視聴の時間。）
- 書く力、表現力、学びを生かす力に課題がある。また家庭学習の内容時間に課題がある。
- 学校生活を楽しみきれていない児童がいる。

重点目標

豊かな心の育成

- ◎どの子ども安心できる学級づくりの取組の推進
- ◎人権教育・道徳教育・態度教育の推進
- ふるさと学習の充実

確かな学力の向上

- ◎基礎・基本の確かな定着
- ◎家庭学習の習慣化
- 読書習慣の確立
- 総合的な学習の時間の充実

健やかな体の育成

- ◎体力向上の推進
- ◎基本的な生活習慣の確立
- 危険予測・回避能力の育成
- 食育の推進

地域に開かれた学校

- ◎家庭・地域との連携
- ◎共育コミュニティを活用したこども園・中学校・高校との連携
- 地域の人材や教育力の活用推進

具体的な取組

- お互いのよさを認め合い一人ひとりが大事されていると実感できる、人権意識の高い学校・学級風土を確立し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める。
- 態度教育「はしもと(橋本)あい(愛)」を推進し、態度教育を醸成する。
- 子どもが主体的に学ぶ道徳科の授業を展開する。
- 地域を知る機会を積極的に取り入れふるさとへの帰属意識を持つ。

- 教材研究の充実による授業改善、授業規律の徹底、補充学習により基礎基本の定着を図る。
- 保護者と連携し家庭学習の手引きを有効に活用し家庭学習の習慣化を図る。
- 朝の読書タイムの実施と、読み聞かせ、家読を推進し読書の時間を確保し、読書習慣の定着を図る。
- 学習事項に関連付けた総合的な学習の時間の内容の充実を図る。

- 体づくり運動の工夫と体力の向上を目指した体育科授業の改善を図る。
- 「橋小ランニングタイム」等全校で業間運動に取り組む。
- 保護者と協力しながら「早寝・早起き・朝ごはん」の基本的な生活習慣を身につけさせる。
- 実際の災害発生時に対応できる避難訓練を行うとともに、発達の段階や地域の実態に応じた危険予測学習を実施し危険回避能力の育成を図る。

- 各種便り、HP等の充実を通して積極的に学校(子供)の様子を発信する。
- 校区の園児、生徒との交流を計画的に図るとともに、スタートカリキュラムの有効な活用を図る。
- 各種ボランティア、ゲストティーチャー、クラブ講師等の人材を積極的に活用し学習活動の活性化を図る。
- 学校運営協議会のさらなる充実を図るとともに、地域コミュニティ本部との連携を推進する。

指標

- ・全校集会で「はしもとあい」についての評価を児童に伝え、達成率の向上を図る。
- ・各学年で「ふるさと橋本」が意識できる授業を実施する。

- ・年に1回以上公開または研究授業を実施し意見交流や研究協議を実施する。
- ・自主勉ノートを月ごとに全校掲示するなど良い事例紹介を実施する。
- ・学校全体の図書環境を整える。

- ・年に2回以上、児童の課題に応じた全校業間運動を実施する。
- ・橋小っ子元気もりもりカードの内容項目のポイントを上げていく。
- ・目的を明確にした訓練を実施する。

- ・各学年のHP更新は週1度以上を基本とする。
- ・教員自己評価項目「外部人材活用による学習活動の活性化」のA及びB評価90%以上達成する。

◎・・・特に重点的に取り組むこと